

開館40周年  
企画展



一



点



一

2022年4月9日〔土〕～6月26日〔日〕

話



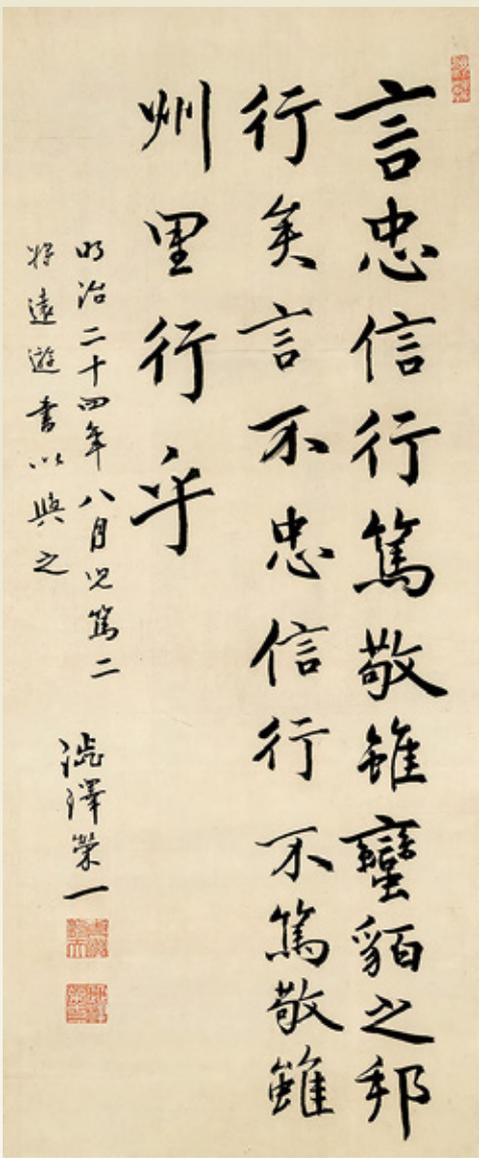
# 一点一話

## 渋

渋史料館は、昭和五七年の開館以来、渋沢栄一の飛鳥山邸跡で栄一の生涯とその思想を伝え続け、今年で四〇周年を迎えます。『渋沢栄一伝記資料』編纂時の収集資料、栄一の遺言で竜門社が寄贈を受けた暖依村荘附属品、関係の皆様からのご寄贈など、当館の所蔵品は栄一の志を受け継ぐ渋沢栄一記念財団（旧名・竜門社）及び財団の博物館である当館に対するご理解とご期待の賜物です。

今回は、当館所蔵品・寄託品の中から栄一に関係する美術工芸品を選びすぎり、一堂に展示いたします。書と漢詩を好んだ栄一の書跡や道具類、折々に制作された栄一像、栄一が敬慕する松平定信、旧主徳川慶喜にまつわる品、また、栄一を慕う人々から栄一に贈られた品などを、逸話とともに紹介します。

作品を鑑賞しながら、栄一の生涯とその思いに触れていたければ幸いです。



《論語一節言忠信行篤敬》渋沢栄一筆 明治24年 渋沢史料館所蔵



《渋沢栄一》小川一真 明治43年 渋沢史料館所蔵

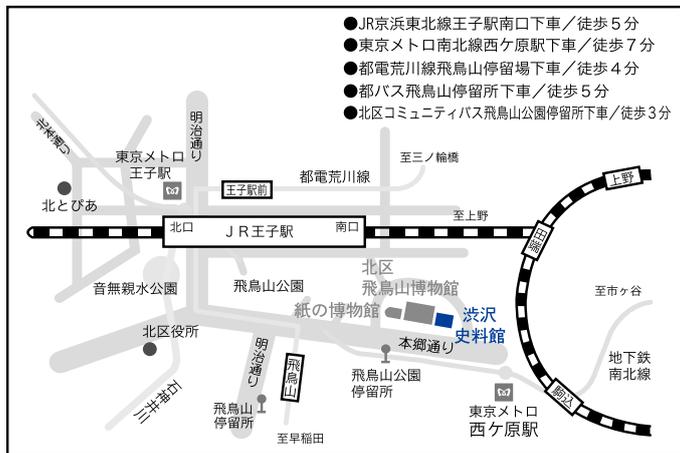
選ぼう

一人一点 好きな作品に投票しよう！

結果は会期終了後に当館ウェブサイト上发表します。

表面掲載作品 いずれも渋沢史料館所蔵、部分

上から《孝経一節 匡救其惡》徳川慶喜筆 天保13年、《孔子像》久隅守景筆 貝原益軒賛 江戸前期、《郭子儀竹丹頂鶴梅鷄難図》橋本雅邦筆 明治33年、《渋沢栄一像》渋沢秀雄筆 昭和7年、《関羽像》松平定信筆 徳川家斉賛 寛政7年、背景《耐而約成事妙決》渋沢栄一筆 明治9年



専用駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用ください。

渋沢史料館は、新型コロナウイルス感染症拡大状況を考慮して、開館方法を定めています。詳細は、当館ウェブサイトでご確認ください。

- ※団体・グループでの見学はお受けしていません。
- ※感染症拡大などの状況により、予定が変更となる場合があります。
- ※会期中に一部作品の展示替えを行います。

なお、2022年4月、5月の開館方法は以下の通りです。（予約不要）  
 ・開館時間：10時から16時まで（入館は15時30分まで）  
 ・休館日：月曜日、5月6日

